

学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況

取組名称：	教職インターンシップⅠ <大学が独自に設定する科目>
連携先との調整方法：	学部の担当教員・職員と美浜町教育委員会・各学校の教務主任との協議、及び校長会での意見交換。
具体的な内容：	<p>美浜町教育委員会、武豊町教育委員会、南知多町教育委員会と連携して、美浜町立小中学校、武豊町立小中学校、南知多町立小中学校で、年間約 40 時間の学校体験を実施している。活動内容は、1) プリントの印刷・配布や漢字テストの採点、机間巡視・机間指導、ノート、ドリルの丸つけ、プリントや問題集等の解説、授業の準備や後片付け（体育、理科、家庭など）、特別支援学級の児童への付き添い など授業・学習への補助、2) 朝自習、給食指導、給食費徴収、放課後学力補充教室等の学習支援、休み時間の遊び、係・当番活動の援助、など学級づくりへの補助、学校行事（運動会、卒業生を送る会など）への参加と補助、課外活動への参加、部活動、クラブ活動、委員会活動等への参加と補助、登下校指導、掃除指導、校内整備等、校内研究会への参加などの学校経営等への補助など、授業を除く教員のあらゆる仕事を体験する。</p> <p>学校毎に学部の教員を担当として配置し、年 3 回程度訪問指導をする。また、事後のまとめを学校ごとに行ったあとで、全体での経験交流会を行っている。</p>

取組名称：	教職インターンシップⅡ <大学が独自に設定する科目>
連携先との調整方法：	学部の担当教員・職員と美浜町教育委員会・各学校の教務主任との協議、及び校長会での意見交換。
具体的な内容：	<p>教員採用試験の合格者及びインターンシップⅡを強く希望する 4 年生を対象に、後期に 1 週間程度、美浜町内の小学校および半田特別支援学校、ひいらぎ特別支援学校で、4 月から学級担任をするにあたって必要な知識、考え方、技術などを学ばせている。インターンシップⅠと同じように、学校毎に担当教員を配置し、訪問指導及び意見交換を行っている。</p>

取組名称：	学校ボランティア
連携先との調整方法：	教職課程センター及び学部担当教員と教育委員会または要請校との協議
具体的な内容：	<p>教職課程センターに学習支援部門を設け、教育委員会からの要請に応じて学生ボランティア（学校サポーター）を派遣している。</p> <p>美浜町、南知多町、東浦町等に学生を送り出しており、通常学級や特別支援学級の授業の支援をはじめ、校務全般の仕事の支援を行っている。</p>